

課題検討委員会（北部）

報告

テーマ

特別支援教育・インクルーシブ教育

筑北小学校 塚原 章治

子どもたち一人一人に寄り添った支援のためのキーワード

連携

- ①小学校・中学校 学校間の連携
- ②中学校区での、交流会を通しての連携
- ③学校の中での、支援学級と原学級の連携
- ④支援学級での子どもどうしの連携
- ⑤保護者との連携
- ⑥その他（複学籍）

小学校・中学校での連携

中1ギャップを防ぐため

書面やデータ

先生が子どもの様子を見る

子ども自身が見学を通して

中学校区 小学生・中学生

子どもたちの連携

交流会を通して

学校の中で

支援学級と原学級との連携

先生と子ども

支援学級の中で

自立活動を通して

子どもどうしの連携

自立活動の内容（6区分）

1. 健康の維持
2. 心理的な安定
3. 人間関係の形成
4. 環境の把握
5. 身体の動き
6. コミュニケーション

この6区分の中がさらに、
27項目に分けられています

保護者との連携

その他

複学籍

取り組んできた課題と その対応について

原学級にいる子どもたちや保護者の
イメージ

知障学級と自情障学級の違い

入級している児童生徒のおもい

支援学級を理解してもらうために

子どもや保護者に、支援学級について説明する。

より効果が期待できる方法で



だれが、いつ、どんな方法で

自立活動について

原学級の担任の先生とも
協力していきたい